



小山台

学校だより

4月号

令和8年4月7日

横浜市立 小山台小学校

春の門出とともに ～新しい一年のはじまり～

校長 堀江 公子

正門わきの桜や色とりどりの花々が春の訪れを告げ、新しい年度が始まりました。小山台小学校の新しい仲間となる1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。また、新たな学年のスタートを迎えた2年生から6年生のみなさん、ご進級おめでとうございます。

さて、1年生はもとより、それぞれ進級した2年生から6年生も、今日はわくわくとドキドキを胸に、特別な思いで学校の門をくぐったことと思います。子どもたちは家に帰ってどんな報告をしたのでしょうか。

1年のうちで最も張り切っている4月。「おはようございます。」という元気な声とともに、新しい仲間、先生、職員との出会いを楽しみに笑顔で教室に向かっている姿や少し緊張した様子も見られました。そこにはたくさんの期待感があるとともに、不安感もあると思います。

成長するには、小さな困難がつきものです。しかし、そんな時、すぐに大人が前に立って、一つ一つ、つまづかないように先じて石を拾うのではなく、つまづきそうになったときに、「子ども自身が自分で見て、自分なりに考えて回避したり、実際に転んでしまっても立ち上がったりする力」をつけることは、子どもたちがこれから成長していく上でとても大切なことだと考えます。そして、何かに挑戦し、目標をもって達成に向けて歩み続けることも、成長するためには欠かせません。

素直に物事に向かう力をもっている小山台小の子どもたち。今年度も、常に子どもたちを中心に据え、学校と家庭、地域が互いに協働し、自ら成長していこうとする子どもたちを支援していきたいと考えます。

がっこう きょういく もくひょう
学校教育目標

えがお かげや こやまだい
「笑顔いっぱい、ともに輝く小山台」

- 自分のよさや可能性を生かし、主体的に学ぶ子どもを育てます。（知）
- 自分や友だちのよい面に気づき、思いやりのある心豊かな子どもを育てます。（徳）
- 心身共にたくましく健やかな子どもを育てます。（体）
- 地域を大切に、ともに生きる子どもを育てます。（公）
- 他との関わりを通して、社会の中でよりよく生きる子どもを育てます。（開）



教職員一同、子どもたち一人ひとりの成長の実現に向けて邁進してまいります。保護者、地域、関係機関のみなさまには、引き続き本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

子どもたちの学校生活の様子については、小山台小学校のホームページ「学校日記」に随時掲載しています。ぜひご覧ください。

